

1982年 12月 1日

親愛なるジョージ、

カリフォルニアから挨拶申し上げます！ 私からの手紙を受け取って、驚かれたでしょう、なにしろ長いご無沙汰が続きました。しかし私の方へと申しますと、最近の“嶋野氏”にまつわる禅スタディ ソサイエティの事件の進展を思えば、貴方から音信がなくても驚きはしません。禅堂では又パーティの時節となりましたが、誰も、こうぜんを招待する気配はありません……私はこのパーティを4年も待ち望んでいたのですが！ とにかく、ジョージ、今日この頃、少し退屈ではありませんか、興味ある記事でも現れないかと期待して只座っていても仕方が無い - ひとつ貴方と私でボールでも蹴り合って“むさ苦しい出来事”に断固立ち向かおうではありませんか。

ニューヨーク禅堂のサロンで私がわんぱく小僧として君臨していた頃、私達は一度も機嫌良く言葉を交わした事が無い事を思えば、おかしな気持ちですが、貴方は、私の記憶では私に対する酷評家の一人だった。そして今では貴方は団体内では日の出の勢い、若いライオンのような存在……そこで私は貴方に2～3話しておきたい事があります。

私が大菩薩禅堂を去った理由は、栄道老師は精神錯乱しており、女弟子達と性交渉を際限なく続けるという犯罪行為を確認したからです。当時私は受戒直後で在住僧を管理する首座の地位にありました。監獄入り寸前の人物のもとで、私は人生掛けての修行を犠牲にする事は出来ない。私の当初の目的はただ、D. B. Z. を出たいと思っただけだったのですが、荷物をまとめていざ出発という寸前に、■■■■の手紙をみつけたのです。- 公にはっきりと貴方に向かって証言するのですが - この手紙ですべてが変わりました。

今日まで、正直に言って私は ■■■■ に関わった事を後悔していますが、当時私としては、明らかに、これ以外考える事が出来なかった。（ところで、貴方も同意されることと思いますが）■■■■の手紙にみえる特殊性は、気分の悪くなるような栄道老師の手段、つまり仏道修行場において精神的に不安定な女性を誘惑することです。（ぶんゆの援助を得て）私の書いた手紙があります、この手紙を保管してこの次栄道老師の不行跡が再び発覚した時、改めて読んで下さい。この手紙を理事会宛に送る決心をしたのは、数週間熟慮した上での事でした。私達が結局この手紙を出すことにきめ、当分匿名にしておいた理由は、理事会員等は馬鹿だから、事を正す事はまず期待出来ないであろうと推察したためと、スキャンダルが間もなく起るであろうことは避けられぬと判断したからです。

そこで第一に貴方に知っておいてもらいたい事は、ジョージ、貴方が現在しておられる事の基礎はこの私が築いたものと言う事です。栄道老師の不行跡について真実込めて発言したのはこの私が始めてなのです。理事会に呼びかけ、卑屈な追従者でなく、知性を持った責任感のある人間として行動せよと要求したのはこの私なのです。私唯一人、法的に彼と対決し、禅堂からの追放を試みるため、禅堂に戻ったのです。（私は自慢話をしているのではありません、ジョージ、違うのです、重要点に今入ろうとしている所です）

ここまで来れば、栄道老師がいかに病的な男であるかと言う事は、資料によって明白でしょう。（時に、これらの資料はベーカー老師によって私に手渡されたものです）彼の犯した際限ない社会悪に対して、彼は否定し続け、彼の弁明はすべて悪意ある人びとの計略によるもので、彼こそ被害者だと言うのです。彼の手紙を見ると、20年来彼によって引き起こされた犯罪に対する告発にも“怯む事無く対決”して、沈黙を守る事によって、なんと彼は慎ましい穏やかな人間であることよ、と人びとに言わせるのですから、正に傑作です。私は彼の症状を偏執性精神分裂症か社会病とでも名付けたいのですが、彼の実際の症状は、誇大妄想、被害妄想、常用嘘つき、変態、小人劣等感症、意識または悔い

の有無にかかわらずやたらに人を傷つける性質の宗教 - 私にとってこの種の精神病に、実は精神病ではないので！ 正確な名前を付けることは困難なことです。

この段階で私は確信するのですが、彼は彼の行動に責任は無い - 彼は無実である、なぜならば彼は精神病患者であるがゆえに。 栄道老師に向かつて恥を知れと期待したり、後悔せよと期待する事は、全身麻痺の人にタップダンスを踊れと頼むように残酷なことなのです。

(ここで私の手紙は重要点に入っていきますから、ジョージ、眼を大きく開けて見ていて下さい。)

通信物を読んだのですが、貴方はやっと栄道老師の世界的評判に気付かれた様子ですね。しかし貴方は、禅スタデイ ソサイエティ理事会の評判をご存知でしょうか？ 馬鹿であろうと卑怯者であろうと、たった2項目の必要事項を満たす事で、理事会のメンバーに選出されるのです。これでやっと貴方でさえ、これ以外の方法で栄道老師の生き残る道はなかったと気付いたのではないのでしょうか。そして貴方はその会長サン！ めでたい事です！！

そういうわけでさすがに、知力の乏しい貴方でさえ偶然にも、明かりが僅かに見え出し、多分貴方自身“ああ、驚いた！ 間違い栄道老師の率いるこのグループ、一体全体、どんな人間達が彼を支持している事やら”と、自問されているのでは？ 私に言わせて下さい、ジョージ。

それでも大菩薩禅堂滞在中私はトラブルを起こした事は一度もありませんでした。(唯私も少し知力に乏しい所があるのですが) 理事会の貴方や他の石頭等は私の栄道老師に対する詰問に、下劣な嫌み嘘中傷で答えた。その中で、私の“気が狂った”“弾き出された”“病的自負心の人”“老師に対する個人的復讐”を計る、“お前を招待した覚えは無い”等等、他に多くの言葉がありました。又、■■■■ ■■■■ が私の依頼により、彼女の栄道老師との個人体験を手紙に書きましたが、他の女性達から無責任なあばずれ、嘘つき、精神不安定と悪言を受けました。貴方達ギャングが寄って集って、だいこう チャック カーペンターをあしざまに扱った事も、忘れてはおりませんよ。

(ジョージ、私は貴方がたじろぐのをみたように思うのですが、まあ、ちょっと待ちなさい。)

と言う訳で私達には分かるのですが、貴方は突然に貴方自身の責任が見えだしたようですね。(実に貴方は宋淵老師の許可が出る迄7年間待たねばならなかった)そこで私達は貴方に樽二つ程あげたいものがある。15年間栄道老師を弁護するため、貴方は彼に対して質問する人を攻撃した...... 今私に一つ、確かに分かった事は、栄道老師は狡い手口を使って、弟子に欲深さ、憎しみ、妄念を植え付けた、これにより私は絶対に栄道老師を許す事は出来ないと悟りました。同時に私は誰のドアに恥を知れと書かれていたか、再調査したいと思います。

全ての公明正大な立場で、今もう一つ尋ねたい私の質問は“おい、こうぜん、誰に呼ばれて貴様の歌やダンスや墓場の冗談を披露するため、又ここへ来たのだ？ 全然、ジョージ、全然なにもないよ。

貴方の仏法の友より、

ピーター カフマン

追伸 この手紙は1979年の理事会の糞袋にも読ませる為に書かれた：

こりん シルヴァン ブッシュ
りんこう ペギー クロフォード
こうん ロバート ションホルト
わどう ヴィッキー ガーデイ
ちげつ ルース リリアンソール
みょうあん モーリーン フリードグッド

そして更に現在そこにいる糞袋にも。

再追伸 貴方がたにとって興味ある事だと思うのですが、過去4年間私は僧として修行を続けて来ました、結構幸せで、健康で効果もありました。時々、夢の中で、何らかの謝罪を待っている自分を発見します。